

開催月日 : 平成 27年 3月 19日

平成26年度第4回  
定期巡回・随時対応型訪問介護看護サービス連携推進会議

時間	am (pm) 6:30 ~ am (pm) 7:30	場所	千代田区役所4階 401/402会議室
司会	●●●●	書記	露崎
出席者	○千代田区高齢介護課介護事業指定係: ●●●●様、●●●●様		
	○千代田区社会福祉協議会: ●●●●様		
	○千代田区高齢者あんしんセンター: 金井英明様(神田地区)、●●●●様(麴町地区)		
	○医療機関: 在宅療養支援診療所 ●●●●様(千代田区医師会)、●●●●様(神田医師会)		
	●●●●様(九段坂病院)、●●●●様(三楽病院)、●●●●様(三楽病院)		
	●●●●様(杏雲堂病院)		
	○訪問看護: ●●●●様(九段訪問看護ステーション・連携)		
	●●●●様(アクア訪問看護ステーション・連携)		
	●●●●様(神田訪問看護ステーション・連携)		
	○地域住民の代表者: ●●●●様(民生委員)		
	○知見を有する者: ●●●●様、●●●●様、●●●●様、柳谷ハルミ様、渋谷直子様		
	●●●●様		
会議内容	○指定事業者		
	グッドライフケア24: ●●●●、●●●●、●●●●、●●●●		
	かんだ連雀いつでもサポートサービス: 峯俊美、浅見達也、露崎信夫		
	① 開会の挨拶		
	グッドライフケア24 管理者: ●●●●		
	② サービス提供状況及び事例紹介		
	グッドライフケア24 アセスメントナース: ●●●●		
かんだ連雀いつでもサポートサービス: 浅見達也			
詳細	③ ご出席者皆様よりご意見・講評		
	④ 閉会の挨拶		
	かんだ連雀いつでもサポートサービス管理者: 峯俊美		
	② サービス提供状況及び事例紹介		
	●グッドライフケア24		
	○平成27年2月末の利用状況		
	・ 男性5名、女性10名		
・ 要介護1/男性2名・女性2名 要介護2/男性1名・女性4名			
要介護3/男性0名・女性1名 要介護4/男性2名・女性2名			
要介護5/男性0名・女性1名			
・ 年齢別/70歳代・1名、80歳代・9名、90歳代・5名			

詳細

・世帯別構成／高齢者世帯・3名、同居・4名、独居・8名

・サービス形態／訪問介護のみ 9名、訪問介護・看護 6名

○ご利用者I様・97歳・女性についての事例報告（詳細は別紙①参照）

○第2・3回定期巡回・随時対応型サービス連携推進会議に於ける、グッドライフケア24事業評価及びアンケート結果について（詳細は別紙②参照）

●かんだ連雀いつでもサポートサービス

○平成27年2月末の利用状況・実績報告（詳細は別紙③参照）

・男性1名、女性8名

要介護1／男性0名・女性4名 要介護2／男性0名・女性1名 要介護3／男性0名・女性3名

要介護4／男性0名・女性0名 要介護5／男性1名・女性0名

○平成26年度サービス状況の考察と課題（詳細は別紙④参照）

○第3回定期巡回・随時対応型サービス連携推進会議に於ける、かんだ連雀いつでもサポートサービス事業評価及びアンケート結果について（詳細は別紙⑤参照）

③ ご出席者皆様よりご意見・講評

●介護・看護・医療との連携及び情報の共有について

○在宅療養支援診療所 ●●●医師より

ICTネットワーク（地域医療ネットワーク事業）について、来年度からの開始を予定している。今後、他職種との連携や情報共有についての重要性は非常に高いと捉えている。

●グッドライフケア24 ご利用者I様の事例について

○高齢者あんしんセンター神田 金井センター長より

定期巡回サービスの導入により、ご利用者の心身状態を把握して本人に必要なサービスを柔軟に提供したが、そのことで日常生活が不活発になってしまったとの評価・報告だが、今後、どのように進めていくのか？

○グッドライフケア24 アセスメントナース ●●●様より

私見のアセスメントになるが、I様は社交的な性格で外出などが好きなことからデイサービスを導入した。しかし、ご利用を拒まれることがあり本人は望んでいなかった。その為、再度、本人の意向を確認して希望に沿ったサービスを選択する必要がある。定期巡回サービスの効果としては、夏場の室温調整・水分補給で1日4回の援助による体調管理は、引き続き必要と捉える。

○高齢者あんしんセンター神田 金井センター長より

以前は、行動的だった方が定期巡回サービス導入後に困り込まれてしまった印象があり、どのように改善していくが大きな課題と捉える。定期巡回サービスでは、ありがちなことだがこれから頑張ってもらいたい。

詳細

○グッドライフケア訪問看護ステーション千代田様より

補足として、ADLの低下は、生活環境を整理したことや包括的なケアからだけではなく、病気・体調不良・入院なども要因としてある。

○高齢者あんしんセンター麹町センター長より

I様をよく知っている立場から補足すると、定期巡回サービスを利用してADLが低下したということはない。デイサービスの利用は入浴を目的にしている。(在宅では入浴不可) 買い物は、今もご自分で行かれているが、買い過ぎてしまうことがある。また、夏場に脱水症状を繰り返しており、1日に複数回の援助がないと一人暮らしは難しい。

○在宅療養支援診療所 医師より

I様の主治医として、夏場の脱水症状の繰り返しからエアコンの導入をお願いした。しかし、ご本人は室温調整が出来ずに定期巡回サービスで対応して頂いている。冬場も同様のことがあり、栄養状態も悪いため、引き続き援助をして頂きたい。今後の課題は、偏食傾向がある為、買い物の同行などを検討して欲しい。デイサービス利用の働きかけや生活状況を考慮すると、本サービスの利用は、必要と捉える。

○かんだ連雀いつでもサポートサービス 管理者 峯より

エアコンのコンセントが抜けないようにカバーを付けたとのことだが、どのように本人に説明したのか、また、その後の様子は？

○グッドライフケア24 計画作成責任者様より

I様は、室内がなぜ暑いのか・寒いのかを理解できていない。また、自分でコンセントを抜いたことも覚えていない状況にある。その為、援助の際に説明することや室温を調整するなどしたが、理解して頂くことが難しいため、コンセントが抜けられないような工事の施工に至った。その後、本人の意識や言動に変わりはないが、適切な室温調整が可能になり、体調を崩されることがなくなったので良かったと捉える。

○在宅療養支援診療所 医師より

I様は、100歳まで生きたいという気持ちが強くあり、必要な援助の導入については、そのことを理由とさせて頂き、説明や声かけをしている。

○高齢者あんしんセンター麹町センター長より

I様は、80数年の間、エアコンのない生活をしてきたが、3年前に初めて導入した。本人は、エアコンの風があたることを嫌うことや、暗闇で光るエアコンの明かりを怖いと話すことがある。現在、(ヘルパーによって室温調整をしているが) 本人の中にエアコンを使用しているという意識があるかわからない。ただ、結果として病気などは防げている。

詳細

○アクア訪問看護ステーション（連携）●●様より

デイサービスを拒まれている理由には、どのようなものがあるのか？

○グッドライフケア24 計画作成責任者●●様より

I様は、自分は健康であり、デイサービスは身体の弱い人達の集まりだと思っている。歌を教えるのが好きなことから歌を教える役割として行って頂いているが、なぜ自分がそのような集まりの人達に教えないといけないのかという気持ちがある。また、気分的に行きたくない時や他者から利用をアプローチされると拒まれることがある。その他、I様が属するコミュニティーに定期巡回サービスを利用している方がいらして、その方との援助時間を比較してやきもちをやくなど、他者との関係性を特に気にされるご様子がある。

●平成26年度の定期巡回サービスを振り返って

○●●介護支援専門員より

定期巡回サービスを利用しているご利用者に携わる機会が多かったが、長所としては、援助回数が多いこと、緊急時に柔軟に時間や援助内容などを調整して対応できること、援助の頻度が多い場合でも単位数が包括的なことなどがある。短所は、ケアマネージャー、定期巡回サービスの事業所、ヘルパーなど、関係者間での情報共有の難しさがあると感じた。

○渋谷介護支援専門員より

担当しているご利用者は、定期巡回サービスを利用して落ち着いた生活を送られている。定期的にデイサービスを利用されるようになったことや偏食傾向があるが、食事面でも援助して頂くことで、体重の増加や栄養面での改善などが見られるようになった。

質問として、民間サービスの利用の検討とあったが、どのようなことを考えているのか伺いたい。

○グッドライフケア24 アセスメントナース●●様より

今まで定期巡回サービスを実施する中で、活用していなかったものに民間のサービスがあった。例えば、買い物などをヘルパーが行うのではなく、提携したスーパーに届けて貰うなど。厚労省からも定期巡回サービスは、身体介護中心のサービスと言われているので、生活援助の部分を民間サービスが携わることで、より身体介護に特化したサービスや他の援助などに携われることが出来るのではないかと考えている。

○九段訪問看護ステーション（連携）●●様より

定期巡回サービスの利用にあたり、導入後の再アセスメントや利用の再検討などのタイミングが重要と捉える。サービスにはそれぞれ長所・短所があり、事業の成功だけではなく、ご利用者にとってよりよい援助を考えなければならない。サービスの提供に際して、あらかじめ期間を設定して援助を行い、効果を検証することなどが必要と捉える。

詳細

○九段坂病院 ●●様より

サービス開始の頃より、要介護度が高い方の利用が増えたことは評価できる。病院には、夏場の脱水や熱中症などで入院されるケースが多くあり、それらを防ぐサービスの一つとして効果があると思う。ただ、このサービスがすべてに適している訳ではないので、導入や見直しのタイミングが大切になる。

●その他

○グッドライフケア24 管理者 ●●様より

サービス事例検討会のケースで発表した訪問介護から定期巡回へ移行し、4月から再度訪問介護の利用を予定するケースがあるので、担当ケアマネージャーの柳谷様よりお話を頂きたい。

○柳谷介護支援専門員より

要介護4、男性、脳梗塞の後遺症で左麻痺、人工透析実施。主介護者は要支援2の妻。昨年末にインフルエンザに罹患し、ADLが著しく低下した。年末年始、訪問介護が休みになる為に24時間対応の定期巡回サービスに移行した。移行後、随時対応も多く、ヘルパーの1回の滞在時間も長いことなどがあった。1ヶ月が経過してADLの改善が見られるようになり、ご利用者と相談して訪問介護に戻るようになった。

○かんだ連雀いつでもサポートサービス 管理者 峯より

通院援助などの長時間のサービスについて、現在は、定期巡回サービスの中で包括的に対応しているが、区としてどのように捉えているのか伺いたい。

○千代田区高齢介護課介護事業指定係 ●●様より

定期巡回サービスの基本的な利用として、短時間の訪問介護を想定している。ただ、ご利用者の状態によっては長時間の援助が必要なケースもある。そのような時には、定期巡回サービスの包括的なケアで柔軟なサービスの提供をして頂きたい。区としては、具体的にどのようにするのかということを示すことは難しいので、事業所として規定することや、どの程度のことまで対応が出来るのかなどを見極めて頂きたい。また、すべてを定期巡回サービスで受けとめると事業所も負担となり、利用者数の増加やサービスの定着に繋がらない。本サービスだけで補うということではなく、サービスの利用に対して検証を実施して、適切に他の介護サービスなどにも繋げて頂きたい。

千代田区で平成25年度より定期巡回サービスを始めて、多くのご利用者に関わることで、良いことも悪いことも含めて様々な課題に対してとてもよく検証がされていると捉える。これからも引き続き、開かれた会議の場をもち、本サービスの利用の普及と定着に努めて頑張ってもらいたい。

次回開催：平成27年度第1回連携推進会議は、平成27年6月頃予定とする。

以上